

～支え合い 誰もが安心して暮らせるまちに～

## 12月3日～9日は障害者週間です

障害者週間は、障がい者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がいのある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした期間です。

日常生活の中で、障がいのある人たちに接する場面は多くあります。障がいを身近に感じ理解すること、優しい心づかいや思いやりをもつことが、住みやすいまちづくりにつながります。

岡福祉課 TEL22-6837

### コミュニケーションを大切に

お互いを理解するためには、会話などのコミュニケーションが必要です。障がいのある人を理解する場合も同じことがいえます。障がいをめぐるさまざまな誤解や差別などは、コミュニケーション不足により起こることもあります。障がいの特性を理解し、ちょっとした声掛けや手助けができるとういすね。ここで、主な障がいの特徴と接し方について紹介します。

### 障がいのある人との接し方

#### 聴覚障がいのある人

聞こえ方は、全く聞こえない、わずかに聞こえる、雑音と聞き分けられないなどさまざまであり、生まれたときから聞こえない人、途中で聞こえなくなっ  
た人がいます。

話し方や外見では、聴覚障がいがあると分かりにくいことがあります。



#### 視覚障がいのある人

見え方は、全く見えない、中心または周りが見えない、暗いと見えにくい、まぶしくて見づらいなどさまざまであり、歩くことや読み書き、身の回りのことをするとき困ることがあります。



## 肢体不自由のある人

病気やけがによって手や腕、足などに障がいがあるため、歩く、立つ、座るなどが困難な人がいます。移動には、車いすを使う人、つえを使う人、義足を使っている人などがあります。また、言語障がいがある人もいます。

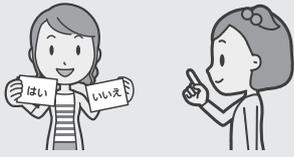
- ・車いすを利用している人と話す場合は、かがんで目線に合わせて話しましょう。
- ・麻痺などにより言葉がうまく話せず聞き取りにくい場合は、あいまいせず確認しましょう。



## 知的障がいのある人

何らかの理由により知的機能の発達に遅れが出て、社会生活への対応が難しいことが多いです。障がいの程度により介護者が必要なこともあります。社会に出て働いている人も多くいます。

- ・一度にたくさんのかことを理解することが難しいため、短い文や言葉で話し掛けましょう。
- ・ゆっくり、はっきり、ていねいに、繰り返し伝えてみましょう。



## 精神障がいのある人

精神疾患のため、日常生活や社会生活を送ることが難しくなります。適切な治療・服薬と周囲の配慮により、ある程度の症状をコントロールすることが可能となります。

- ・いきなり強い調子で声を掛けたりせず、穏やかな口調で話し、相手に考えてもらう余裕や安心感を与える対応を心掛けましょう。



## 発達障がいのある人

脳機能の発達に関係する生まれつきの障がい、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手な人が多いです。

- ・個人差がとても大きいため、その人の特性をよく理解して、特性に見合った対応をするようにしましょう。落ち着いた環境で、ゆっくり、具体的に伝えましょう。



「ヘルプマーク」を見たら  
思いやりのある行動を



義足や人工関節を使用している人、内部障がいや妊娠初期の人など、外見から分らなくても援助や配慮を必要としている人々がいます。そのような人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくなるよう作成されたのがヘルプマークです。

このマークを見かけ、困っているようであれば声を掛けるなど、思いやりのある行動を心掛けましょう。

※ヘルプマークは、福祉課窓口で無料配布しています。

